

寒中で繰り広げられる熱い戦い

1月15日、雄志館で町少年柔道大会があり、町内外の小中学生40人が熱戦を繰り広げました。



■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-0049
石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字197番地1

☎0768-62-11000(代)
能登町 URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp



伝統行事・アマメハギを多くの人に周知
**秋吉公民館前に
巨大オブジェ登場**



オブジェを整備する
公民館関係者



5年目を迎えた
わら細工教室

国の無形民俗文化財でユネスコの世界無形文化遺産登録候補の伝統行事「アマメハギ」を多くのの人に知ってもらうため、秋吉公民館は鬼をかたどった高さ4層のオブジェを完成させました。同公民館では平成24年から「公民館特色ある活動事業」として、わらを使った藁や前垂れ、深靴、こもなどの伝統技術継承に努めています。オブジェは活動の一環として作られたもので、地域のシンボルとして一年を通じて伝統に触れて

もらうことにより、地域の魅力が向上する期待が込められています。2月3日には千個を超える竹灯籠の明かりを灯し、行事に彩りを添えることにしています。

国指定名勝・旧松波城庭園 保存整備方法を答申 往時の姿を現物展示へ



石を並べて水の流れを表した枯山水庭園



発掘調査中の現地を視察する策定委員会委員

国指定名勝の旧松波城庭園の保存整備方法を考える「名勝旧松波城庭園保存整備基本計画策定委員会」は1月11日、保存整備に関する基本計画を町長に答申しました。委員長の尼崎博正京都造形芸術大学教授と副委員長の^{あまさき}ひがしよつや^{なき}史明金沢学院大学名誉教授が役場能都庁舎で持木町長に答申書を手渡し、基本計画を説明しました。同策定委員会は平成25年に設置され、発掘調査や気候調査などを実施し、枯山水遺構の保存・活用について検討を進めてきました。基本計画では枯山水遺構の実物の展示に向けて、修復や園路整備することが盛り込まれています。

スマホで「広報のと」

「i 広報紙」がリニューアルして「マチイロ」に

スマホで広報のとを読むことができる「i 広報紙」が「マチイロ」にサービス名を変更しました。すでに「i 広報紙」をご利用中の

端末は、アップデートによってアプリが入れ替わるようになりますので、新しくダウンロードする必要はありません。

 マチイロ



「広報のと」2月号の印刷費は一部当たり28円です。



この印刷物は、EPAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
E3PA：環境保護印刷推進協議会